

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

[記入方法]

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。
- 「取り組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

- 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム はぶやま

(ユニット名) 星

記入者(管理者)

氏 名 江頭 喜代美

評価完了日 平成 20年 12月 15 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			「笑顔、やさしさ、思いやり」を理念として、日々ケアを実践している。		
			(外部評価)		
			事業所は、利用者の立場に立ったケアを実践できるよう、「いつも笑顔、やさしさ、おもいやり」「のびのび、にこにこ、いきいき」という理念を掲げておられる。		管理者は、「地域にもっと目を向け、高齢化しつつある地域のニーズにも応えることのできる事業所にしていきたい」と話しておられた。今後さらに、貴事業所が「地域密着型サービス事業所」として、地域の中でどのようなことを目指していくのかということについて、地域の方達にも知らせていかれてほしい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			毎朝の申し送り時、ワーカー会で再確認し取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			事業所の各所に理念を掲示されている。職員は、毎朝の申し送り時等に、理念を復唱されている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			はぶやま便りにのせたり、家族への説明は出来ているが、地域への取り組みはわずかしか出来ていない。		地域とのかかわりを増やし、理念を伝えていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○ 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩時や日常的なあいさつはしているが、近所の人とは付き合いがない。		
5	3	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の清掃には参加しているが、他の行事には参加していない。		
			(外部評価) 事業所は、自治会に加入されており、職員は、地域の清掃活動にも参加されている。散歩時、近所の方と挨拶されたり、近所の方が利用者のために椅子を用意して下さることもある。これまでに介護教室を1度開催されており、地域の方達が多く参加して下さった。		管理者は、「今後は、公民館活動にも利用者と一緒に参加したり、近隣の小学校との交流等もすすめていきたい」と話しておられた。又、地域の方を対象にした介護教室の再開も考えておられた。今後さらに、利用者と地域の方々との交流の輪が広がるよう、取り組まれることが期待される。
6		○ 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議での話題にはあがるが、今のところ取り組んでいない。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価は全員で行い、外部評価後は改善点など話し合い、今後に役立てている。		
			(外部評価) 自己評価は、すべての職員で取り組み「ワーカー会」でも話し合われて、管理者がまとめられた。管理者、職員は、「利用者の介護度も高くなり、時間に追われがちになっているが、利用者本位の介護を常に見失わないよう、原点に立ち返ることの大切さ」を感じておられた。前回の評価結果を受けて、事業所では、運営推進会議等を通して、特に地域との関係づくりに努められた。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価)		
			会議での報告や話し合いをサービス向上に活かしている。		
			(外部評価)		
			会議には、ご家族の他、地域から自治会の会長、副会 長、成人教育部長、婦人部長、高齢者教育部長、民生 委員の方等も出席されている。会議では、ホーム便り 等も配布し、事業所の活動状況や利用者の近況等につ いて報告し、ご意見をうかがっている。管理者は、 「会議を重ねることに、地域の方の事業所への理解が 深まってきた」と話しておられた。地域の方の提案も あり、会議時、避難訓練を実施された。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			グループホーム交流会や事業者連絡会で直接話し合え る場があり、質の向上に取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			運営推進会議の際には、市の担当者から、「会議にご 家族が参加することの必要性」や会議の開催方法等 について助言していただいた。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価)		
			ワーカー会で話し合う機会はあるが、全員で理解でき てはいない。		学習会を再度行いたい。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			ワーカー会で常に話し合い、防止に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4.理念を実践するための体制					
12		○ 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)		
			十分説明し、理解をいただいている。		
13		○ 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)		
			ケアカンファレンスに参加して意見を聞く等、いつでも受け入れる機会を作っている。		
14	7	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らし方や健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価)		
			家族の面会時に報告したり、電話連絡したり、その都度報告している。		
			(外部評価)		
			ご家族の来訪時には、ご本人の健康状態や日々の暮らし方等を伝えておられる。職員は、ご家族が来られたら、出迎えて声をかけ、お話するように心がけておられる。これまでに、「はぶやまだより」を3回発行し、行事の様子等のカラー写真や、新人職員の紹介等を載せて、ご家族に届けられた。		管理者は、今後、事業所便りの発行回数を増やし、利用者個々に近況をしたためた手紙も添えて、ご家族にお送りしたいと考えておられた。ご家族が知りたい情報をタイムリーに提供できるよう、さらなる報告の工夫を重ねていかれてほしい。
15	8	○ 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)		
			家族会での意見交換の場を設けている。		
			(外部評価)		
			家族会は年に1回開催されており、外部評価結果等についても報告されている。ご家族から「事業所の食事を一緒にいただきたい」との要望があり、「数日前に連絡してもらえば可能である」旨をお伝えされた。		管理者は、今後、独自の家族アンケートを実施する等、さらにご家族の意見や要望を出してもらえよう、働きかけたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)		
			ワーカー会での意見交換をしている。チャレンジカードで提案等している。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価)		
			行事や病院受診時等に勤務調整を行っている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価)		
			ユニット間で職員異動があるが、全員で配慮している。		
			(外部評価)		
			新しい職員には、先輩職員から利用者個々の接し方や生活歴を伝え、利用者へのダメージを防ぐよう配慮されている。職員は、「管理者は、良き相談相手としての確かなアドバイスをしてくれる。又、チームワークも良く、自然に笑顔になれる職場である」と話しておられた。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)		
			研修に参加する機会を作り、全員が参加できる様配慮している。		
			(外部評価)		
			事業所では、外部研修の受講をすすめておられ、時には勤務時間内に受講する場合もある。又、法人内でも「感染症」等について勉強されている。職員は、「新しい介護技術法」等の研修を受け、日々のケアに活かせるよう努めておられる。年に2回、職員個々に指針や課題、目標等を明確にする「チャレンジシート」を作成し、意識の向上につなげておられる。		管理者は、今後さらに、職員個々に段階に応じた外部研修の受講を、推進していきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			グループホーム交流会に参加し、質の向上の為、色々な意見を聞き勉強している。		
			(外部評価)		
			地域包括支援センター主催のグループホーム連絡会には、管理者と職員が出席し、意見や情報交換をされている。又、他の事業所で催された「救命救急法」の勉強会に参加されたり、事業所の防災訓練に地域のグループホームの職員が参加される等、交流を図っておられる。		今後は、運営推進会議にも互いに出席し合うよう、連絡会で話し合われた。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 年2回、親睦会を実施しているが、特に他の事はしていない。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) チャレンジカードを自己作成している。研修参加の支援をしている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			利用者から不安や求めている事等を会話の中から導き出すよう努力している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		○ 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			入居時や申込をされる時に、家族の意見、相談を聞く機会がある。		
25		○ 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)		
			本人、家族とよく話し合い、希望に沿えるよう努めている。		
26	12	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価)		
			入居前に見学されたり、話をする機会を作り、なじみの関係を作っている。		
			(外部評価)		
			入居当初は、ご家族に頻繁に面会に来ていただいたり、ご本人が落ち着かないときには、ご家族に連絡して訪問していただく等、ご本人が馴染めるよう配慮されている。母体法人のケアハウスやショートステイ、デイサービスを経て入居される方もおられる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○ 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価)		
			日々コミュニケーションを図りながら支えあう関係づくりを行っている。		
			(外部評価)		
			職員は、利用者から風習やことわざ、乾物の戻し方や、ボタンの付け方等、昔ながらの知恵を伝授していただくこともあり、「自らが成長できる思いがする」と話しておられた。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		○ 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会時等で家族と話し合いをし、協力関係を作っている。		
29		○ 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 毎日の状況を機会ある毎に報告し、良い関係が保てるよう支援している。		
30		○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 再度訪問していただける様、面会の時間を大切にしている。		
31		○ 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士が関わりをもてる様支援している。		
32		○ 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退所した後はあまり連絡はとっていない。入院されているときは面会に行く等している。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			意向の把握には努めているが、実施できていないことが多い。		
			(外部評価)		
			耳の不自由な利用者には、職員が大きい紙に分かりやすく書く等、筆談を通して思いを汲み取れるよう配慮されている。センター方式を一部用いて、思いや意向の把握に努めておられる。		さらに、利用者一人ひとりの思いに寄り添えるよう、引き出し方やかわり方の工夫を重ねていかれてほしい。又、日々のケアの中で、新たに知り得た利用者やご家族からの情報を職員間で共有し、日々のケアにつなげていかれることが期待される。
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			調査表や家族、本人との話の中で把握に努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			申し送り等で現状把握を行っている。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			家族の意見を聞き、本人参加できる方には参加してもらい、ケアプランを作成している。		
			(外部評価)		
			介護計画作成の際、ご本人がカンファレンスに参加される場合もある。又、介護計画作成時、ご家族とも相談されているが、意見や要望は少な目である。		さらに、ご本人がより良く暮らすことができるよう、ご家族からも具体的なご意見を出していただけるような働きかけの工夫が期待される。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うと ともに、見直し以前に対応できない変化が 生じた場合は、本人、家族、必要な関係者 と話し合い、現状に即した新たな計画を作 成している	(自己評価)		
			利用者に変化が起きたり、見直しが必要な時はその都 度話し合いを行っている。		
			(外部評価)		
			3ヶ月に1度の見直しと、状態変化時には、随時の見 直しを行っておられる。現状に即した介護計画の見直 しができるよう、「ケアプラン評価表」を作成し、毎 日確認されている。		
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づき や工夫を個別記録に記入し、情報を共有し ながら実践や介護計画の見直しに活かして いる	(自己評価)		
			日々の記録は実践しており、介護計画の見直しに役立 てている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応 じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な 支援をしている	(自己評価)		
			通院介助、買物、訪問理容の利用希望に応じて支援し ている。		
			(外部評価)		
			職員は、利用者の希望に添って、個別にデパートに出 かけることもある。遠来のご家族が来られた際に、泊 まられることもある。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) ・年2回の防火訓練 ・歌や楽器演奏、おやつ作りのボランティア利用		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 理美容サービス利用		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議、グループホーム交流会に包括支援センター職員が参加しており、色々な情報が得られる。		
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 月2回の定期的な訪問診療を受けている。体調変化による受診の支援している。定期検診がある方への受診支援している。 (外部評価) 現在、ほとんどの利用者は協力医(運営者)をかかりつけ医とされており、かかりつけ医受診の際は、職員が同行し支援されている。調査訪問時、歯科医が訪問診療しておられた。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) かかりつけ医師に相談、治療を受けている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価)		
			かかりつけ医の看護師に相談、助言を受けている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価)		
			入院時、病院関係者との情報交換、相談をし、早期退院に努力している。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価)		
			本人の状態に応じ、家族と話し合い方向性を決めている。		家族とかかりつけ医との話し合う機会を多く作る。
			(外部評価)		
			事業所では、医療行為が必要となった場合は、事業所で支援することはむづかしい旨を、入居時にご家族に伝えておられる。現在、事業所で最期まで過ごしたいと望んでおられるご家族もある。		管理者は、「介護度が重度の方が多いので、今後、看取り支援を考えていかなければならない。ご家族やかかりつけ医、職員と話し合い、方針を共有していきたい」と話しておられた。ご家族の協力のもと職員間でも体制作りに向けて、話し合う機会とされてはどうか。
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価)		
			まだチームでの支援の取り組みは行っていない。		今後の変化に備えて検討会を開きたい。
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価)		
			・体調不良での入院が多い。 ・他施設への転居の際は十分な相談・話し合いを行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○ プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ね るような言葉かけや対応、記録等の個人情 報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			言葉かけや対応には常に気配りをし、ケース記録等は 外部の目にふれない様保管を行っている。		
			(外部評価)		
			調査訪問時、職員は、利用者に、少しの時間待っても らう場面があったが、職員は、笑顔で「お待たせしま した」と丁寧に言葉かけされていた。		ドアが開いたままのトイレや居室について、「プライ バシーの確保」の点から話し合いをされてみてはどう だろうか。
51		○ 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きか けたり、わかる力に合わせた説明を行い、 自分で決めたり納得しながら暮らせるよう に支援をしている	(自己評価)		
			各人の個性に合わせた説明、言葉かけをし、自己決定 できるよう支援している。		
52	21	○ 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切に、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している	(自己評価)		
			一日の流れは決まっているが、各人の体調、希望を大 切にしている。		
			(外部評価)		
			昼食時、食事がなかなかかはかどらない方に、職員は、 「ゆっくりでいいですよ」と何度も声をかけながら支 援しておられた。食後にテレビを楽しみたい方に、職 員は、お好みのチャンネルを聞いておられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 月2回の理容の訪問サービスがあり、希望あれば美容のサービスも受けられる。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 簡単な下ごしらえは職員と一緒にしているが、片付けは職員が行っている。		
			(外部評価) 食事作りや片付けは、ほとんど職員がされている。昼食時、職員は、利用者が食べやすいよう声かけやサポートされる等、食事介助に専念し、各自で持参されたお弁当をスタッフルーム等で食べておられた。献立は、管理栄養士が立てておられるが、季節によって芋たきやお節等、利用者の希望に添っておられる。お誕生日には、手作りのケーキでお祝いされている。		グループホームの特徴を活かし、利用者と職員がおいしい食事を共に楽しむ工夫を重ねていかれることが期待される。又、食事一連の流れの中で、利用者個々の持っている力を活かして、かかわれるような場面を増やしていかれてはどうだろうか。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 自己管理できない方は職員が預かり、希望時に渡している。		
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄パターンを把握し、支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			曜日や時間帯は決まっているが、本人の体調や希望により、日を替える事もある。		
			(外部評価)		
			介護度重度の利用者は、機械浴を利用されている。入浴時の不安を抑えられるよう、声かけ等に工夫して支援されている。時には、ゆず湯等も楽しまれている。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			各人のペースや体調に合わせて生活されている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			洗濯物たたみやゴミ袋作りの手伝い、レクリエーション、散歩、買物等で気晴らしの支援している。		
			(外部評価)		
			ボタン付けや繕い物をしたり、新聞紙を使つての箱作りや塗り絵をされる方や新聞を読むことを日課とされている方もいる。月に1度来訪される、おやつ作りのボランティアの方が作られるたい焼き等、皆さん心待ちにされている。訪問時の昼下がり、利用者と職員が一緒に童謡や民謡等、懐かしい歌を歌っておられた。		現在、介護度が重度の方が多く、支援に難しいこともあるだろうが、さらに、利用者個々の生活歴や力を活かし、事業所でも、利用者一人ひとりが喜びや張り合いを持って暮らしていけるよう、支援に工夫を重ねていかれることが期待される。
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			お金の管理ができる人は本人が所持している。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	○ 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			散歩に出かけたり、日曜日には近くのスーパーに買物に出かけたりしている。		
			(外部評価)		
			団地内に散歩に出かけておられる。お正月には、近くの神社に初詣に行かれた。屋上で日向ぼっこをされる方もおられる。お花見等にも行かれている。		事業所では「みんなそろっての外出」も楽しみたいと考えておられるが、現在、介護度が重度の方が多く、事業所に大型車も無いということから、その機会はやや少なくなっている。職員は、「外の空気に触れることは利用者の方にとって、良い刺激となるので、外出の機会を増やしていきたい」と話しておられた。
62		○ 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			春はお花見に出かける機会がある。 外食やお墓参り等を家族と一緒に出かける方もある。		
63		○ 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			希望あれば電話を使うこともできる。 個人で携帯電話を持っている方もいる。		
64		○ 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			訪問時のあいさつやお見送り等、気をつけて行っている。お茶を出す等気配りもしている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 車イス乗用時に転落防止の為、拘束ベルトをしている方もあるが、家族の承諾をもらっている。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 居室には鍵はないが、不穏状態があり、やむを得ず玄関に鍵をかけなければならない時もある。 (外部評価) 現在、夕方等、職員の人数が少ない時間帯に、玄関を施錠することがある。		管理者は、今後、施錠しなくてもすむ取り組みを、すすめていきたいと話しておられた。利用者の自由な生活の支援について、理念にも立ち返りながら、話し合いを重ねていかれてほしい。
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 昼夜を通して見守りや巡視を行い、利用者の状況を把握している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 各人の状態に応じて物品の保管管理している。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ヒヤリハット、事故報告書を作成し、再発防止に役立てている。 定期的な防火訓練も行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 緊急時のマニュアルを作成しているが、訓練については不十分である。		応急処置の訓練を行いたい。
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 運営推進会議で地域の方の協力をお願いしている。年2回避難訓練を行っている。 (外部評価) 前回の運営推進会議時には、地域の方も参加していただき、避難訓練を実施された。又、運営推進会議では、災害対策について繰り返し話し合っておられる。管理者と職員が自治会の防災講習に参加された。管理者は、事業所を地域の避難場所の一つとして提供したいとの思いを持っておられる。		職員の「建物の2階、3階にある事業所ということから夜間時は、不安もある」という声も聞かれた。今後も、いざという時に、利用者個々が安全を確保できるよう、さまざまな災害を想定した訓練を重ねていかれてほしい。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 面会時や電話等で話し合い、対応策をたてている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日のバイタルチェックや体調変化などに気配りをしている。申し送りなどで常に情報の共有が出来ている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬時は必ず確認し、症状の変化に気をつけている。 薬の内容についてはすべての把握は出来ていない。		薬の処方箋を取り寄せ、目的や副作用を把握する。
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 水分摂取量に気を配っているが、運動の働きかけはあまりしていない。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後の口腔ケア出来ている。 義歯の人は週一回洗浄剤で洗浄している。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 管理栄養士が献立を作っているので、栄養バランスは取れている。 食事、水分量についてはチェック表がある。		
			(外部評価) 法人の管理栄養士が献立を作成されている。水分は、1日に1000cc摂取できるよう、食事、おやつ、薬の服用時等に声をかけてすすめておられる。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) インフルエンザ予防接種を受けている。 食事前の手指消毒を実施している。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価)		
			食材は新鮮なものが業者より届いている。 まな板、ふきんの消毒は毎日行っている。		
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価)		
			1Fデイサービスの玄関を間違えられる方がある為、入口にプレートをかけて開放し、わかる様にしている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			壁面に大きな手作りカレンダーを貼ったり、季節毎に飾りつけを替えたりして工夫している。		
			(外部評価)		
		ユニットの入り口には、ご家族が持ってこられた鉢植えの蘭が置かれ、職員お手製の手芸品等も飾られていた。居間には、シクラメンが飾られ、手作りのカレンダーや利用者の塗り絵の作品や行事の写真等が貼られていた。			
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価)		
			ホールにソファを置き、皆でくつろげる様にしている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			使い慣れた家具、仏壇等を置き、各々に使い勝手良く工夫されている。		
			(外部評価)		
			居室には、それぞれ洗面台が設置されており、調査訪問時、昼食後の口腔ケアをされている方もうかがえた。畳のお部屋もあり、テレビやテーブル等を持ち込まれており、仏壇やお位牌を祀っておられる方もあった。又、ご家族の写真や職員から贈られた誕生日のカード等も飾っておられた。		
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			常日頃より換気や室温には配慮している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			トイレ、洗面所、廊下、浴室には手すりをつけ、安全にも気をつけている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			各室にカレンダーを貼ったり、入口に表札をかける等している。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			ベランダはせまく、段差がある為、活動できるスペースはない。時には屋上に行き、景色を楽しむことはある。		

. サービスの成果に関する項目		
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己 ②利用者の2/3くらいの評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己 ①毎日ある評価) 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己 ②利用者の2/3くらいが評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己 ②利用者の2/3くらいが評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己 ③利用者の1/3くらいが評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 4 ほとんどいない	家族さんの協力が得られる方は出かける事は出来るが、車イスの方が多いため、希望にはそえていない。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己 ①ほぼ全ての利用者が評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己 ②利用者の2/3くらいが評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己 ②家族の2/3くらいと評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己 ③たまに評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 4 ほとんどない	

(自己評価)

特定非営利活動法人 JMACS